

# マンガの種類に着目した社会人基礎力の向上効果

○北海学園大学工学部生命工学科 高橋 柚菜  
 北海学園大学大学院工学研究科 菊地 晃平  
 北海学園大学工学部生命工学科 鈴木 聡士

## 1. はじめに

### 1.1 研究背景

2006年に経済産業省<sup>1)</sup>が提唱した「社会人基礎力」は、現代の日本社会において特に重要性を増しており、今もなお有効であるとされている。この「社会人基礎力」とは「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」と定義されている。これは3つの能力とそれを構成する12の能力要素で示されており、各々の能力要素を図-1に示す。

また2017年に経済産業省産業人材政策室<sup>2)</sup>は、若者が学校卒業後にスムーズに職場に定着できないことが社会問題であると指摘している。これにより「職場等で求められる能力」をより明確化し、意識的な育成や評価を可能としていくことが必要であるとしている。これらの課題から「社会人基礎力」の能力要素を学校卒業前に身につけることが重要であるといえる。

これらのことから、最も社会人基礎力を学ぶべき時期である就業前の学生を対象とした場合、様々な教材等が考えられるが彼らにとって馴染みの深いマンガを題材とした「～から学ぶ～」という書籍が多く出版されており、マンガを読むことによって社会人基礎力を学べる可能性があると考えられる。

### 1.2 既存研究

これらの背景をふまえ、関連する既存研究をレビューしたところ、吉田<sup>3)</sup>はマンガを学習教材として学習内容とストーリーなどの周辺情報と合わせて提示することで学習効果が高められると示唆している。特に、学習内容をマンガで表現した場合、

長期にわたって記憶が保持されていること、またストーリーに合わせて読むことにより、より深い理解がなされ、新しい事態に対して知識を適用できることを明らかにした。原部<sup>4)</sup>らは、学習マンガ教材の特徴として、活動の視点が明確になり、理解が深まる可能性が含まれ、その結果、興味・関心が喚起できる等の利点を示した。しかしこれらの研究では、どのような能力を学ぶことができたか、またマンガにはどのくらい定量的に学習効果が期待できるのかは明らかにされていない。

また家島<sup>5)</sup>は心理学におけるマンガに関する研究において、現代の日本人の自己形成にマンガが影響を与えている可能性を示唆した。さらに家島<sup>6)</sup>は、大学生に対する自己形成支援の必要性を指摘しており、マンガの活用はこれらの活性化において特に有効であることを示した。しかし、これらの研究では、マンガの種類によって自己形成支援に対する影響に差があるのかは明らかにされていない。

### 1.3 研究の目的

これらをもまえ本研究は、社会人になる前の学生を対象に、マンガの定量的な学習効果を明らかにする。この際、12の能力要素から構成されている社会人基礎力をマンガから学び取る際に、どのようなマンガの「種類」でどのような「能力」を学べるのか、そして各マンガの「特長」を調査する。さらに最終的に各マンガから学ぶことができる社会人基礎力の12の能力要素を処方箋として提示することを目的とする。

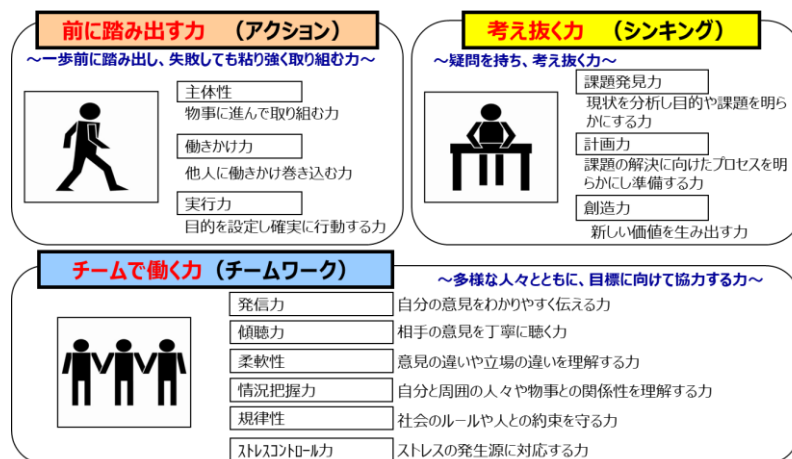


図-1 社会人基礎力の要素とその能力要素<sup>2)</sup>

## 2. 調査概要

本研究の調査概要を表-1に示す。

表-1 調査概要

実施期間	2020年10月下旬～2020年12月末
実施方法	生命工学科の情報系研究室に所属する4年生学生に、研究室毎にマンガを一定期間常備し、全巻読んだ後にGoogleフォームで作成したアンケートに回答
調査項目	12の能力要素を学べた度合い等
マンガの種類と被験者数	スラムダンク(7) 暗殺教室(11) 銀の匙(5) 鋼の錬金術師(6)

マンガの選定方法については、話の概要等<sup>1)</sup>を参考に、社会人基礎力の12の能力要素を学び取れると判断し選定した。また調査期間内に読み切れる巻数とマンガのジャンルについても考慮した。その結果、スポーツ系の「スラムダンク」、学園・バトル系の「暗殺教室」、ヒューマン系の「銀の匙」、さらにアクション系の「鋼の錬金術師」の4種類とした。

アンケート方法については、社会人基礎力の12の能力要素と総合力評価(総合的な観点から、社会人基礎力を学びとれた度合い)を5段階で評価させた。評価基準は、「1. 学び取れなかった」、「2. あまり学び取れなかった」、「3. どちらともいえない」、「4. やや学び取れた」、「5. 学び取れた」とした。

## 3. 相関分析と平均値の差の検定によるマンガの評価

### 3.1 分析方法の概要

本研究で用いた分析方法は、相関分析と平均値の差の検定である。

相関分析とは、2つのデータの関係性の強さを表す相関係数を計算し、数値化する分析手法である。本研究ではマンガの総合力評価と12の能力要素に関する相関関係を分析した。

平均値の差の検定とは、2つの群の間で平均値の差について統計的な検定を行う分析手法である。本研究ではマンガ同士の12の能力要素の値を用いて総当たりで分析を行なった。なお、有意水準を5%とし両側検定とした。

### 3.1 相関分析の結果

図-2に全29サンプルを用いて、総合力評価と12の能力要素の相関分析を実施した結果を示す。図-2より、「働きかけ力」は総合力評価との関係性において1%有意であった。さらに「傾聴力」、「実行力」、「規律性」については5%有意であった。

この結果から、総合力評価に影響を与える最も重要な能力要素は「働きかけ力」であり、次いで「傾聴力」、「実行力」さらに「規律性」の4項目であった。つまり、これらの項目に対する評価が高ければ、マンガの総合力評価も高くなる傾向がある

といえる。

## 3.2 重要4能力要素のマンガの比較

次にこの総合力評価に対し重要な能力要素について、マンガごとに比較を行なった。その結果を図-3に示す。図-3より、各々の能力要素についてマンガの特長を以下に示す。「働きかけ力」では、最も評価の高いマンガが「銀の匙」であり、次いで「鋼の錬金術師」であった。「規律性」では、最も評価の高いマンガが「鋼の錬金術師」であり、次いで「暗殺教室」であった。「実行力」では、最も評価の高いマンガが「銀の匙」であった。「傾聴力」では、最も評価の高いマンガが「暗殺教室」であった。

上述の結果と総合力評価を比較すると、最も高いマンガが「銀の匙」で、次いで「鋼の錬金術師」、「暗殺教室」であることから、「働きかけ力」をはじめとする4項目の能力要素の評価が高いマンガは、総合力評価の高さと強い関係性があると考えられる。

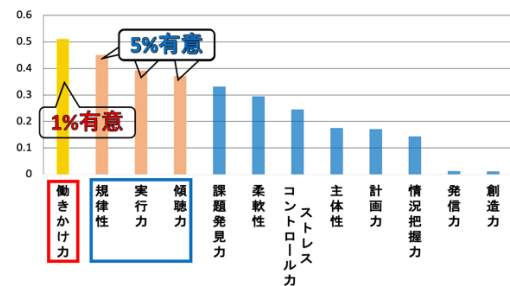


図-2 総合力評価と12の能力要素の相関係数

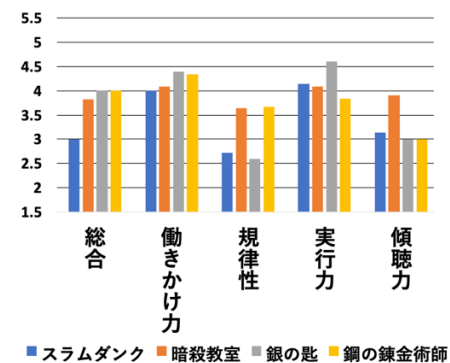


図-3 重要な能力要素の評価に関するマンガ間の比較

## 3.3 平均値の差の検定の分析結果

### 3.3.1 重要4要素の比較

相関分析の結果から総合力評価に対し重要な能力要素であることが明らかとなった4項目の評価について、マンガごとの有意差を分析したところ、「傾聴力」の「暗殺教室」と「鋼の錬金術師」間でのみ10%の有意差が見られた。この結果から「傾聴力」では「暗殺教室」が「鋼の錬金術師」よりも高い評価であることがわかった(表-2)。

表-2 傾聴力で10%有意のあるマンガ

	暗殺教室 (傾聴力)	鋼の錬金術師 (傾聴力)
平均	3.909090909	3
分散	1.890909091	0.4
観測数	11	6
仮説平均との差異	0	
自由度	15	
t	1.861237017	
P(T<=t) 片側	0.041212029	
t境界値 片側	1.753050356	
<b>P(T&lt;=t) 両側</b>	<b>0.082424058</b>	
t境界値 両側	2.131449546	

	銀の匙 (発信力)	スラムダンク (発信力)
平均	2.4	3.857142857
分散	0.8	1.476190476
観測数	5	7
仮説平均との差異	0	
自由度	10	
t	-2.392670392	
P(T<=t) 片側	0.018892927	
t境界値 片側	1.812461123	
<b>P(T&lt;=t) 両側</b>	<b>0.037785854</b>	
t境界値 両側	2.228138852	

表-5 主体性で10%有意のあるマンガ

	銀の匙 (主体性)	鋼の錬金術師 (主体性)
平均	4.6	3.833333333
分散	0.3	0.566666667
観測数	5	6
仮説平均との差異	0	
自由度	9	
t	1.950834538	
P(T<=t) 片側	0.041427796	
t境界値 片側	1.833112933	
<b>P(T&lt;=t) 両側</b>	<b>0.082855593</b>	
t境界値 両側	2.262157163	

表-6 計画力で10%有意のあるマンガ

	銀の匙(計画力)	スラムダンク (計画力)
平均	4.6	3.428571429
分散	0.8	0.952380952
観測数	5	7
仮説平均との差異	0	
自由度	9	
t	2.152930629	
P(T<=t) 片側	0.029875515	
t境界値 片側	1.833112933	
<b>P(T&lt;=t) 両側</b>	<b>0.05975103</b>	
t境界値 両側	2.262157163	

### 3.3.2 その他の要素の比較

重要な能力要素以外の各マンガの評価結果を図-4に示す。これに基づき、マンガごとに有意差の比較を行なったところ4つの項目で有意な差が見られた。以下に結果を示す。

①「計画力」の「銀の匙」と「鋼の錬金術師」間で5%有意で差が見られた。このことから「計画力」では「銀の匙」が「鋼の錬金術師」よりも高い評価であることがわかった(表-3)。

②「発信力」の「銀の匙」と「スラムダンク」間で5%有意で差が見られた。このことから「発信力」では「スラムダンク」が「銀の匙」よりも高い評価であることがわかった(表-4)。

③「主体性」の「銀の匙」と「鋼の錬金術師」間で10%有意で差が見られた。このことから「主体性」では「銀の匙」が「鋼の錬金術師」よりも高い評価であることがわかった(表-5)。

④「計画力」の「銀の匙」と「スラムダンク」間で10%有意で差が見られた。このことから「計画力」では「銀の匙」が「スラムダンク」よりも高い評価であることがわかった(表-6)。

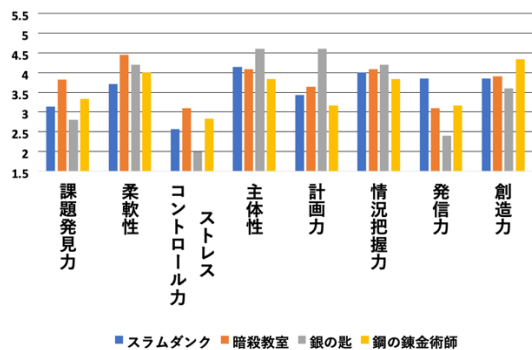


図-4 重要な能力要素以外の能力要素別のマンガ比較

表-3 計画力で5%有意のあるマンガ

	銀の匙(計画力)	鋼の錬金術師 (計画力)
平均	4.6	3.166666667
分散	0.8	0.566666667
観測数	5	6
仮説平均との差異	0	
自由度	8	
t	2.841519982	
P(T<=t) 片側	0.010880512	
t境界値 片側	1.859548038	
<b>P(T&lt;=t) 両側</b>	<b>0.021761023</b>	
t境界値 両側	2.306004135	

表-4 発信力で5%有意のあるマンガ

## 4. 結論

以上の結果から、社会人基礎力の12の能力要素を学ぶにあたり、総合力評価を高めるための重要な能力要素は4項目あり、その中で最も相関関係が強いのは「働きかけ力」であることがわかった。続いて「規律性」、「実行力」、「傾聴力」であった。これらに共通していることは、平均値の差の検定でマンガ間に有意な結果があまり出なかったことから、どのマンガを読んでも学ぶことができる点である。その中でも、「傾聴力」では有意な差が出たことから、「銀の匙」を読むことで「傾聴力」を高めることができ、かつ「総合力評価」も高めることができると考えられる。

また、その他の能力要素の特徴をふまえて、各マンガで特に学びとれる能力を整理した結果を図-5に示す。

図-5に基づき、各マンガの処方箋を図-6に示す。これらは社会人基礎力の各能力要素の言葉の定義を参考に示したものである。

今後の課題として、コロナの影響により、被験者数が十分に集まらなかったことから、これを増加させて分析結果の信頼性を向上させる必要がある。



図-5 マンガ別学べる能力要素



図-6 各マンガの処方箋

## 参考文献

- 1) 経済産業省：人生 100 年時代の社会人基礎力について  
[https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/jinzaizoku/jinzaizou\\_wg/pdf/007\\_06\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/jinzaizoku/jinzaizou_wg/pdf/007_06_00.pdf)
- 2) 産業人材政策室：「人生 100 年時代」を踏まえた「社会人基礎力」の見直しについて  
[https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/jinzaizoku/jinzaizou\\_wg/pdf/001\\_02\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/jinzaizoku/jinzaizou_wg/pdf/001_02_00.pdf)
- 3) 吉田佐治子：「教材としてのマンガ」、摂南大学教育研究、第 9 号、2013  
<http://id.nii.ac.jp/1213/00000196/>
- 4) 原部聖子、原田奈名子、古澤小百合：「マンガの功罪」、佐賀大学文化教育学部研究論文集、13(2)、2009  
<https://core.ac.uk/download/pdf/59166475.pdf>
- 5) 家島明彦：「心理学におけるマンガに関する研究と概観と展望」、京都大学大学院教育学研究科紀要、2007、53:166-180  
<http://hdl.handle.net/2433/43999>
- 6) 家島明彦：「マンガを介した青年の自己形成支援プログラム作成に向けて」、京都大学大学院教育学研究科紀要、2008、54：98-111、<http://hdl.handle.net/2433/57036>
- 7) リクナビ NEXT ジャーナル：大事なことは全部マンガが教えてくれた

## 謝辞

本研究の調査にご協力頂いた先生ならびに学生各位に深い謝意を表します。